

地域学校協働研修会



令和5年7月28日（木）玉川村たまかわ文化体育館 クラブハウス 参加者30名

講話「子どもも大人も安心してらせるまちづくり」

特定非営利活動法人ぴいかあぶう 吉田一也 氏

- ・ 近年では、支援の必要な子どもが増加していると言われ、人とのコミュニケーションがうまくとれないために、戸惑いや不安を感じている子どもがたくさんいる。このような現状と課題を解決するため、支援の必要な子どもたちへの早期療育や放課後や夏休み等の長期休業中の居場所づくりを展開している。
- ・ 個別に支援や必要な学習や遊び、療育支援に加えてすべての子どもたちのためにスポーツや音楽、レクリエーション活動、職業体験などにより多くの社会参加ができる機会をつくり事業展開をしている。

参加者の声

- ・ 幼児から高校生まで切れ目のない支援体制を構築されていてすごかったです。
- ・ 障がいのある児童の支援や運動活動の大切さを理解することができました。これからの時代に大切な事を多く学ぶことができました。
- ・ 子どもも大人もというところが大切であることが分かりました。



事例紹介「石川町野木沢放課後子ども教室の実践」

石川町放課後子ども教室協働活動支援員 遠沢幸恵 氏

- ・ 放課後の子どもたちの活動の拠点として安心して安全な居場所を提供することにより、地域の大人との交流や様々な体験活動を通して子ども達が心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として事業を展開している。
- ・ 各種団体の方々の支援により栽培活動や読み聞かせ、野外活動等充実した体験活動を展開している。
- ・ 配慮を必要とする子どもたちへの対応について、スタッフ間で情報を共有する時間を設定し、個に応じた支援を充実させて事業を展開している。

参加者の声

- ・ 充実した活動に驚きました。地域の方々にたくさんの“教え”を頂く機会に恵まれうらやましいです。
- ・ 地域の人たちが応援して一緒に学ぶことができるとても素晴らしいことだと思いました。季節との関連を図った活動はとても素晴らしいです。子どもたちにとっても良い思い出になると思います。
- ・ 様々な体験活動を実施していることがよくわかりました。体験させるにあたっての準備が大変だと思いました。スタッフの方の尽力がとても素晴らしいと思います。組織や計画が的確に編成立案されている証です。



講義・演習「子どもの好奇心を呼び起こす工作教室」

ふくしま森の科学体験センター 塩澤仁行 氏 阿部未和 氏

- 子どもたちに工作を楽しませるためには、用具や材料の取扱いに十分注意させ、安全面での配慮に十分心がけることが大切である。
- 友だち同士で教えあって製作活動に取り組ませることも重要な手立てである。

《演習で行った工作》

- 1 ペーパーパズル
- 2 ストローひこうき
- 3 ぱたぱたチューブ
- 4 びっくり袋
- 5 木エピンチクリップ

参加者の声

- 自分の手で作ったおもちゃは何度やってもおもしろいです。
- とても楽しい時間でした。工作は楽しいことを子どもたちに伝えたいです。
- 毎日の活動に生かすことができる内容でした。すぐに子どもたちと実践したり、遊んだりしてみたいと思います。



【研修会全体を通して】

参加者の声

- 各地区の運営上の悩みや工夫が聞けて良かったです。
- それぞれのグループの発表を聞いてやはり同じような困り事があることを共感することができました。
- 子どもたちを見守ることの大切さを改めて実感しました。また、このような研修があったら参加したいと思います。準備等含め御尽力いただきありがとうございました。



- 夏の1日有意義な時間でした。参加して本当に良かったです。
- 今日の研修で学んだことを職場でも生かしていきたいと思います。
- このような研修会への参加が初めてだったので、各所属の情報を知ることができよかったです。